

2009年 5月 25日発行

NO.24

力 ム ニ テ イ ー  
**翔 夢 N i t y**

発行：NPO法人「翔夢」

発行責任者：西脇 朗夫



特定非営利活動法人 **翔 夢**

大阪市平野区長吉長原2-14-15  
 TEL(06)6760-6167  
<http://www.npo-cam.org/>  
 e-mail:nandemosoudan@npo-cam.org

相談支援事業

ホープネット

TEL(06)6760-6167 FAX(06)6760-6168

就労継続支援事業

ドリームネット

TEL(06)6760-6181 FAX(06)6760-6182

地域活動支援センター

ハートネット

TEL(06)6760-5343 FAX(06)6760-5344

生活介護事業

ジョイネット

TEL(06)6155-9901 FAX(06)6155-9902

写真は翔夢の前でバーベキューを行ったときの写真です。

も く じ

- P1..... 表紙
- P2・3... 退院促進支援事業
- P4・5... 花見 翔夢、ジョイネット
- P6・7... メンバー紹介、お知らせ
- P8..... 厨房から、お知らせ

# 1111の病気基礎講座

## 精神障害者

### 退院促進支援事業

前回まで病気について触れさせていただきましたが、今回は制度の一部を紹介したいと思えます。みなさんは精神障がい者が病院を退院することについてどのように考えていますか？前回まで病気は誰でもなりうることを言ってきました。入院は治療の場として欠かせない場所だとわかっていただけだと思いますが、一度入院したら二度と出られないと思う人がいるかも知れません。

かしそれは間違いで、近年入院されている日数は減っており、一年未満で退院する人がほとんどになります。五年以上の長期入院している方も半数以上になり、短期入院と長期入院との二極化になってきています。今回はその長期入院に關しての支援の制度というものが精神障がい者退院促進支援事業というのがありますのでそれについて書かせていただきます。

この事業は大阪府が一番初めに国の補助を受け、社会的入院（退院できない状態なのに受け入れ先が整わないために退院できない状態）の解消を「行政や地域の課題」とし精神科医療の協力をえて、二〇〇〇年度（平成十二年

度）から二年間の事業として取り組んだことから端を発します。そして、大阪の試行的事業の成果のもとにして二〇〇三年度（平成十五年）から「精神障がい者退院促進支援事業」の施策化が行われました。実施主体を「都道府県及び指定都市」に、「事業の一部を精神障がい者生活支援センターに委託して実施」としています。事業内



容については、大阪府の試行的事業をふまえ、本事業にかかわる運営委員会や自立促進支援協議会の設置をはじめ、利用手続きや退院訓練実施、退院訓練終了時の取り扱など細かく決め、国庫補助は二分の一となっています。

二〇〇四年度（平成十六年度）年度は対象者を一人以上とするなど実施要綱の一部改正されています。二〇〇三年度（平成十

五年度)から二〇〇六年度までの取り組み状況を左の表にします。

	平成15年度	平成16年度	平成17年度
実施市か所数	6	27	29

翔夢も病院と連携をと

り退院促進支援事業をさせていただいています。翔夢に通われているメンバーさんもこの事業のおかげで退院をし、日々地域で生活をされています。しかし、このケースはまだまだ稀なことであります。というのは、二〇〇三年度、二〇〇四年度の退院促進事業における退院者の状況について、国の調べによれば退院時の居住の場及び退院時日中活動の場を下の表で見ていることにしましょう。

表の中で翔夢にあたるのは活動の場の福祉サービスです。しかし、本事業が施策化されてから三年以上経過しているにもかかわらず、実施都道府

居住の場	自宅(家族同居、一人暮らし等)	35%
	居住サービス(施設、グループホーム等)	60%
	その他	5%
活動の場	福祉サービス	48%
	医療サービス	28%
	その他	24%

県・指定都市全体の四八%と半数も達成してい

ません。このことは社会資源の乏しいことを表しています。二〇〇四(平成十六)年度の国の精神保健福祉対策本部の報告書「精神保健福祉の改革ビジョン」に示されている七万二〇〇〇人の社会的入院の解消との観点からすれば、まだまだ社会資源が乏しい。ですので、地域住民の理解の理解は不可欠だともいえます。私たちが人とはどっかで繋がっています。今こそ、小さな思いやりから皆で共存できる社会になるように協力していきましよう。(山本)

文中の資料等は、精神保険白書二〇〇七年度版より抜粋しました。

# 翔夢のお花見

植百鍛十配琢 而ヤケハ《恕

三月二十七日に(なぜか翔夢の瓜破公園の行事は雨なのにこの日は晴れていた!!)お散歩をかねて瓜破公園に花見に行きました。職員チームで班分けをしてグループで歩いていきました。やはり歩けば目に付くものも一杯あり、少し早めの春をみなさん満喫したのではないのでしょうか。途中グループでトイレ休憩をとったりしながら瓜破公園につき、みんなで翔夢特製弁当を頂きました。桜は二部咲きといったところでしたが、外でみんなと食べるお弁当は多少

の寒さを吹き飛ばすくらいおいしかったように思います。

午後からは全員参加の×ゲームをし、寒さも感じずみなさん健闘しました。×ゲームの質問は翔夢にちなんだもので、だんだん難しくなっていくきましたが、最後まで勝ち進み見事商品でゲットしたのは金谷さんと山田さんでした。商品はお菓子でしたが二人の笑顔は最高でした。その後、わが翔夢新人職員の発案したゲームを三班に別れてしました。「さとうたくみがころんだ」で

は職員の佐藤巧が的となり「だるまさんがころんだ」の変形版で、佐藤さん(翔夢職員)のファンらしき人(男女)たち???が集まり盛り上がったいました。また一方では、「長いストロークでコーラを一気飲み」も沢山の人が集まり参加していました。「さんたんゲーム」では、背中にぶら下げたプラカードに後ろの人が自分のいいところを書き、後で発表するというのがありました。自分の気が付かなかったもう一人のいい自分を見つけられたのではないのでしょうか。三つのゲームとも盛り上がり楽しい一日となりました。また、写真クラブの方たちも

ゲームには参加せず、写真撮影に夢中になり、後に写真クラブで品評会をしておりました。行きかう車や自転車に気をつけつつ歓談しながらの散歩は楽しい翔夢の一日となったんではないでしょうか。

(鎌田)





# ジョイネットの花見

～ 桃ヶ池公園 ～

今まで外出のレク・プログラムはドリームネット、ハートネット合同で行っていました。が、「ジョイネットだけで、それも職員やメンバーみんなでプランを考えて、単独で外出プログラムを立てようじゃないか！」という目標のもと、今年一月から計画がスタートしました。

「みんなで計画を立てて実行するなら、四月ぐらいにしようか？」  
 「海遊館やUSJに行きたい」  
 「いや、まずは近場に行く計画を立てて、何回か実行して、最終目標に行った方がええんちゃうか？」  
 「確かにお金も積み立てないといけないし、一日かかってまうし。」  
 「近場にしよう。近場で花見はどうだ？」  
 「大阪城がええなあ。」  
 「大阪城往復までの時間がかかるんちゃうか？長居公園はどう？」  
 「いやー、長居行きの路線バスなんやけど、行きはいいけど、帰りに車椅子が乗れるノンステップバスの時間がうまく合いません！」  
 「桃ヶ池公園はどうですか？」  
 「どこやねん!? それ」  
 「田辺駅から近いです

よ、花見もできるみたいですよ！」  
 「おお!今インターネットのHPを調べてみたら、桜がきれいみたいですよ！」  
 「ほんまや!ここにしよう!」  
 つてな会話が、数か月の期間の中で雑談もありつつ展開され、ゆっくりとではあります。実行計画を皆で立ていきました。

四月二日(木)A、Dと四グループ体制をとって、いざ出発!ちなみに引率や点呼、車椅子のメンバーの移動介助も職員やメンバーが協力・分担して行いました。

桃ヶ池公園は桜や桃、梅が咲き乱れ、実に鮮や



かな光景でした。参加者は皆、花見を堪能しておりました。「また自分達で計画して外出をしたいね!」そのような話も聞かれました。次はいつ、どこに行くのか!。。。

実行した際は本誌上で報告させていただきます。

(佐藤)

## メンバー紹介

翔夢の施設を利用されているメンバーの方をご紹介します

いつも楽しく来ています  
徳岡 聖子さん

こんにちは。私はド

リームネットのメンバーの徳岡聖子です。ここに通うようになったきっかけは、二〇〇七年頃だったかな、パソコン講習にきだしてそのまま二期つ

づけてパソコンの基礎を習い、そのまま居ついでいます。今はパソコンの仕事をして頂いてます。皆さんにはいまでもおせわに

なつてばかりで職員さんには迷惑もかけますが、職員さんがいい人ばかりなのでいつも楽しく作業所に来ています。

(コメント) 徳岡さんの担当はインターネットを使つての検索作業などです。高齢者施設に勤めていた経験もあるので、レクリエーションのアイデアを出してもらったり、メンバーの誕生会では、グリーティングカードを作ってもらったりもしています。

突っ込みは忘れません

吉田 博さん

メンバーの中では長く在籍している吉田博さんです。だから、結構皆から頼られています。作業

料理もうまくなりました  
山田 真宏さん

翔夢の就労支援B型所

属の山田さんは、はるばる奈良から来られています。翔夢ではいつもここに笑顔でみんなと接するので他のメンバーはその笑顔にコロツとだまされてる？様です。

冗談はさておき、本人自身はヘルパー二級の資格を持っていて、最初が、最初は、洗濯はもちろんのこと料理でも包丁を使うことがこわく、材料を切ったりする事が全くだきませんでした。しかし、第二のプログラム

(文・安河内)

のヘルパー講習で包丁を使わない料理(ちなみにや

きそばを作りました)を体験し、自宅でも焼きそばを作り成功したそうです。そのことで自信がつき料理に興味をもち楽しさがわかってきたらしく、自宅では野菜炒めなどにもチャレンジしているそうです。山田さんは、翔夢で様々な障害をもっているメンバーと接して自分も包丁をもって野菜を切ることに挑戦する勇気をもらったそうです。最近では、じゃがいもの皮を剥く練習などをして技量を挙げようとしているし、包丁を持つことができ、本人自身驚いているとのこと。その上この施設の風呂介助で使ったタオルなども洗濯ができるようになり、

その進歩はとてもすごいと感じます。最新情報ではヘルパー就労の練習として風呂介助も目指しており入浴介助の見学も体験していきます。その上、自分から風呂介助を見学させてもらうメンバーと関わりを持ち信頼関係を築こうとする真剣な姿勢が伺えます。笑顔が素敵な山田さん、これからヘルパー就労にむけて一歩一歩前進してください。

(文・金銅)



## お 仕 事 、 承 り ま す ！

翔夢では、さまざまなお仕事を承っていますが、「いったい何をしてもらえるの？」という声にお応えして、出来ることを少し紹介します。まずパソコンの仕事ですが、10台あまりのパソコンを設置しています。Word、Excelでの名簿の入力のほか、インターネットを利用した検索なども行っています。また、ホームページの新規作成、既存ページの更新作業も可能です。イラストレーターやフォトショップでの版下作成や画像処理にも対応できます。

一方、軽作業のほうは、雑貨品の組み立て、ねじ部品の袋詰めなどを行っています。DMの封入・発送作業や資料の丁合い、マンションや施設の清掃といったことも承っていきたいと考えています。いずれの作業もメンバーにとって就労や地域生活に向けた訓練としてかせないものとなっています。ぜひお気軽にご相談・ご依頼ください。お待ちしております。

## 厨房からのお便り

を廻ってみました。  
 まずは、食事介助の食器を扱っているブースを見ることになり見学している、器ひとつをとっても形状を深くしたり重みをつけたり、スプーンも持ち手が異なる物だけでも何種類もあつたりと、使い易くするための工夫が見られました。次に廻った介助食品のブースでは、柔らかさの異

みなさんはバリ  
 アフリー展という  
 催し物をご存知で  
 すか？毎年開催さ  
 れているのです  
 が、今回私は初め  
 て参加し、衣・  
 食・住に関わる  
 色々な展示物やセ  
 ミナーがある中で  
 食に関するブース

なる食品サンプル（容易  
 に噛める）かまなくてよ  
 いの四段階）や食材を食べ  
 やすくするためのとろみ調  
 整粉などがたくさん展示さ  
 れており、介助食のヒント  
 を得ることが出来ました。  
 バリアフリー展で見学し  
 てきたことを参考にし、誰  
 もが快適に食事が出来るよ  
 うに取り組みを始めて行こ  
 うと思います。  
 河合

## 新しく車が増えました！

翔夢を利用するメンバーさんも増え、送迎が必要な方々が多くなってきたこともあり、4月から新しい車両が登場しました。1台目は、車椅子を2台載せることができる、真っ白な車体がまぶしいハイエース。これで送迎車両は3台になりました。

「真っ白で寂しいからみんなで絵でも描こうか」といううわさも。また、専任のドライバーさんも決まりました。送迎を希望される方はご相談ください。



そしてもう1台は幌付きの軽トラック。送迎は出来ませんが、内職の納品や廃品回収など、小回りの利いた使い方に威力を発揮しそうです。

## 募金・賛助会費振込先

郵便振替

口座番号 00980 - 8 - 317336

口座名称 特定非営利活動法人 翔夢

三菱東京UFJ銀行 平野南口支店

口座番号 普通 4636394

口座名称 特定非営利活動法人 翔夢

賛助会員に  
 ご入会をお願いします

日頃からの翔夢の事業にあたたかいご支援をいただきありがとうございます。今後も翔夢の事業をさらに大きくしていきたいと思っておりますので、私ども『翔夢』の賛助会員に入会をお願いいたします。